

施策番号 4-3-3	施策名 上下水道の整備	基本目標 自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり 政策名 自然と調和した持続可能な生活環境の整備・保全
主管課 施策関係課	水道課	課長名 高橋 力 内線 427

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果		
上下水道等の整備により、ライフラインを確保し、快適な生活環境の維持に努めます。		上下水道等施設		・老朽化した施設の改築更新・耐震化				安全・安心な上下水道の安定提供		
成果指標	説明	単位	策定期(基準値)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績	2026年度目標		
① 水洗化率(下水道・集落排水・合併浄化槽)	決算統計	%	96.4 (R3)	96.5				96.9		
② 給水人口(上水道・簡易水道)	決算統計	人	16,419 (R3)	16,192				16,400		
③										
成果指標 設定の考え方	①公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽の生活排水処理による水洗化率として、2026年度目標値を96.9%と設定 ②上水道区域、3簡易水道(上美生・美生・河北)区域の給水人口として、2026年度目標値を16,400人と設定									

## 2. 施策の事業費

	策定期決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費(千円)	1,227,928	1,168,851			

## 3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2023年度の成果評価(基準年との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	人口減少等による給水人口は低下しているが、拡張区域における整備は順調に進んだ。郊外地における個別合併処理浄化槽の設置により水洗化は進んでいる。
②第5期総合計画後期実施計画(2026年度)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる	根拠(理由)	①について 下水道・集落排水施設の集合処理による水洗化は概成しており、下水道が提供する生活環境の改善は図られている。集合処理区域以外の郊外地における個別合併処理浄化槽設置について、計画的に実施したことにより水洗化は進んでいる。 ②について 上水道区域の拡張工事が完了したことや老朽化した簡易水道施設の更新を実施したことにより、水道事業が目的とする安定供給は維持しているが、水需要予測に基づく近隣自治体との広域化の検討・一部、簡易水道の上水道化の検討を進める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能		
	<input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい		
(2) 施策の成果評価に対する2023年度事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	個別合併処理浄化槽新設事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
	下水道建設事業		
	配水管整備事業		
	上水道(第6期)拡張事業		
③事務事業全体の振り返り(総括)	・個別合併処理浄化槽は、農業者の世帯分離や町外からの移住者など非農家住宅の新築に伴う要望は増加傾向である。 ・下水道施設は、農業集落排水施設を含め、老朽化施設の再整備(改築更新、長寿命化)及び耐震化対策等を進めている。 ・簡易水道施設は、河北地区において、老朽化施設の更新事業を北海道との合併施工で平成26年度より実施し、完了した。 ・上水道施設整備については、無水源地域の解消に向けて拡張区域の検討を進めているほか、水道施設の更新や耐震化を推進するとともに、計画的に老朽管の布設換えを実施している。		

### (3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定期との比較)

担当課 評価	人口減少による給水人口は低下したが、水道施設の更新・老朽管の布設換えは順調に進んだ。郊外地における個別合併処理浄化槽の設置により水洗化は進んでいる。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		

A:実現した  
B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した  
D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した

C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した  
E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した

### 4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	・上下水道施設は、住民生活に必要不可欠なライフラインとして、地域住民の生命と暮らしを守るという極めて重要な役割を担っていることから、今後も料金の適正化に努め、経営戦略の改定により、経常収支の均衡に配慮した健全な事業経営を維持しながら、安全安心な水道水を安定的に供給していくため、効率的な老朽管更新工事や耐震化等対策を図り、上下水道施設機能の適切な維持管理と各施設の更新計画に基づき、計画的な機器等の更新を実施する必要がある。
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	・上水道事業の経営面においても、効率的な施設整備と適正な管理や料金の適正化に努め、健全な事業経営の維持のため、安全安心な供給に対する要望がある。 ・郊外地における生活環境及び水洗化の向上を図る個別合併処理浄化槽新設事業は、農業後継者の世帯分離や町外からの移住者等による新規設置要望が増加傾向にある。 ・老朽化施設の再整備について水道というライフラインを守るために採算を度外視して進めなければならない部分があるとの意見がある。今後も料金の適正化に努め、施設機能の適切な維持管理と各施設の更新計画に基づき、計画的な老朽管や機器等の更新を実施する必要がある。 ・議会から水道事業における広域化・耐震化など、災害に備えた水道施設からの安定供給等について一般質問があった。生活インフラとしての安定供給と料金収入による安定経営により、老朽化や耐震化対策を計画的・効率的に進める必要がある。

### 5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

◆取組① 上水道施設の整備強化と維持管理の推進(配水管整備事業・上水道(6期)拡張事業、下水道建設事業・個別合併浄化槽新設事業) ・上水道では、「芽室町上水道事業施設整備基本計画」に基づき、施設の更新や耐震化を計画的・効率的に実施していく。 ・下水道では、「芽室町下水道ストックマネジメント計画」に基づき、効率的な維持管理や改築更新・耐震化対策を推進していく。 ・農業集落排水では、「芽室町集落排水施設維持管理適正化計画」に基づき、計画的な改築更新を推進していく。 ・個別合併処理浄化槽では、郊外地(農村部)における下水道施設であり、多くの住民が良好な生活環境を確保するため必要な施設であり「芽室町合併処理浄化槽基本計画」に基づき、整備を推進していく。
◆取組② 上下水道事業の健全な運営(配水管整備事業・上水道(6期)拡張事業、下水道建設事業・個別合併浄化槽新設事業) ・上水道・下水道事業の経営戦略の適宜、見直しを実施していく。 ・「わかりやすい上下水道経営(経営戦略・経営比較分析表等)」の情報提供を実施していく。

### 6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	担当課評価同様に前進したと評価する。		A	B	C	D	E
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	進捗結果			○		

A:実現した  
B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した  
C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した  
D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した  
E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した

### 7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価同様に前進したと評価する。		A	B	C	D	E
今後の取組に対する意見	・新嵐山スカイパーク内フォレストハウスのトイレの排水時の水圧を上げてほしい。 ・上下水道経営の情報提供と併せて「芽室町の水が美味しい」ということも発信してほしい。	進捗結果			○		

A:実現した  
B:(後期実施計画策定期と比較して)大きく前進した  
C:(後期実施計画策定期と比較して)前進した  
D:(後期実施計画策定期と比較して)変わらない又は維持した  
E:(後期実施計画策定期と比較して)後退した